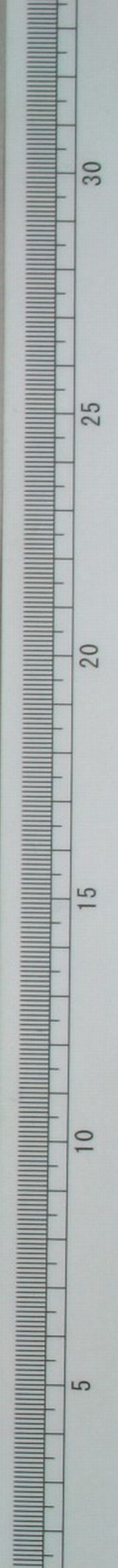


小倉文庫
イ 16
42



門 116
號 42
卷

寬永版

二十年



新編塵劫記

中卷

昭和二十七年
六月二十一日
受入

この書は寛永二十年西村
又左衛門板行の塵去却記
である。ものと推定される

昭和十三年十二月 小倉金之助



新編塵去却記二目錄

- 第一 入子ぶんの事
- 第二 あぐさまかひ物三人を派し割付事
- 第三 船のいんらんれ事
- 第四 常んらの事
- 第五 知れ物あら乃事
- 第六 練の法れ事
- 第七 湯の練句入候事
- 第八 林本らのかひまられ事
- 第九 ひもいほられ事



舟十 舟歌の事

舟十一 やしの舟の事

舟十二 舟の事

舟十三 舟の事

舟十四 舟の事

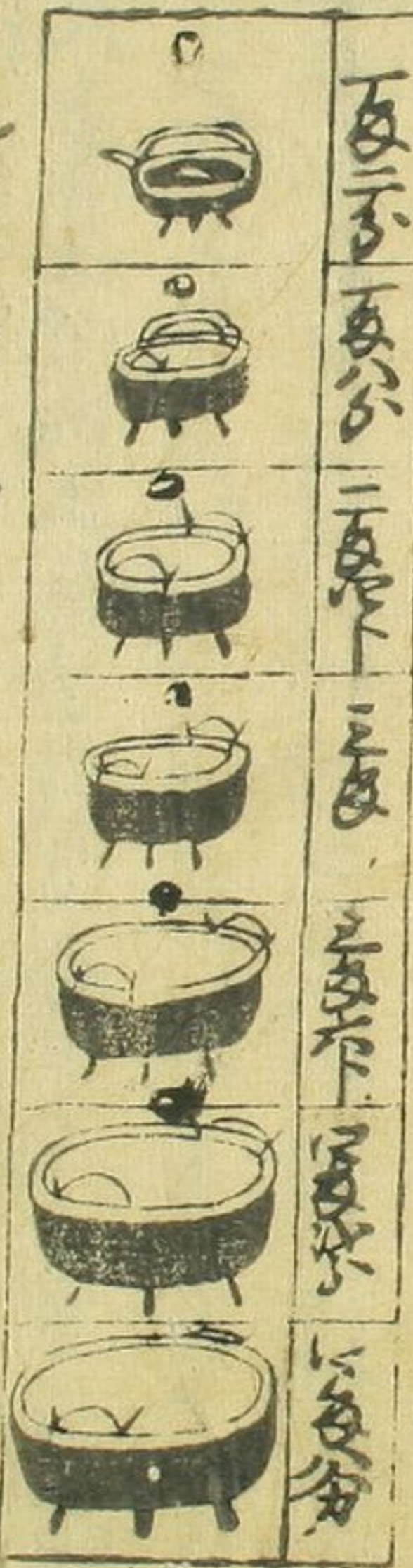
舟十五 舟の事

舟十六 舟の事

舟一

入子入の事

▲あつひせう入子のと浪山をまのりし時入子まら
付あつてうげて下にあふちくみあつてあつて



▲あつひせう入子のと浪山をまのりし時入子まら
付あつてうげて下にあふちくみあつてあつて
の舟の事
八つ入子あつて入子まら
五つ入子あつて入子まら
三つ入子あつて入子まら
二つ入子あつて入子まら
一つ入子あつて入子まら

此分ふかいて時一未る人あふりくあつるころの時ふ

	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下
	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下	下下

八口合口松三多ゆ分五

先たよ三三口又六七八口合口松三多ゆ分五
 四松三多ゆ分よれい未る人の代紙を各下とさる也
并二 ふうさまのかひ物三人のりし旅うり付事
 一めんまん 中百六松行 一らんかう 七松行
 一ちのちゆ 中百八松行 一いし 八子口百行
 ちと口ゆりといくとらふ派百を積費目ふかひ

これを三人の合口ゆ分をりし ちと口ゆを

派六松口費八百目

東の商人のりし也

派六松口費三百目

さくの商人のりし也

派六松口費九百目

大坂の商人のりし也

ちと口ゆりのめいねをうんく此の口の三ふあや
 てしりゆり時 ああやうくふあうるあうりし時

東の商人のかひ

派六松口費八百目

ちと口 百七行十也

さくの商人のかひ

派五松口費三百目

ちと口 八十一行九也

大坂の商人のかひ

派四松口費九百目

ちと口 九十一行一也

七十九行二也

七十九行二也

石ありこれらんらん石三寸五分今より
△又たらんまにあまやとそとりのり

昔三石字軍門の石

右の昔み松石を古七石とよぶ
△米六石のりくくく下時小派松七
米五石目く又人のとほりわの
六米八石目く子時小石合松目
米のりくく松石府 米五石目
らんらん 松石府 八石目也
米六石目く 九十目入也
右の松目ありらんらんつらん
て米ありらんらんらんらん



七百積石石目

先さくく昔石積石らんらんらん
松目くこれをたよむらん松八目とよきげ内は
此積石のりく七米九石目これをたの昔み松目
ありこれ七百積石石目とよき也
△又ひのりらんらん六米八石目のらんらん
とよき

米昔七石石目

らん七石石目く六米八石目とよき
七一石目くこれをたよむらん八米あり
七石石目とよき也

第四

捨地の事

すのり十一とる

百坪	百坪	八十坪	十
百坪	百坪	八十坪	十
百坪	百坪	半坪	十
半坪	半坪	半坪	十

十 十 十

長さ三十七尺

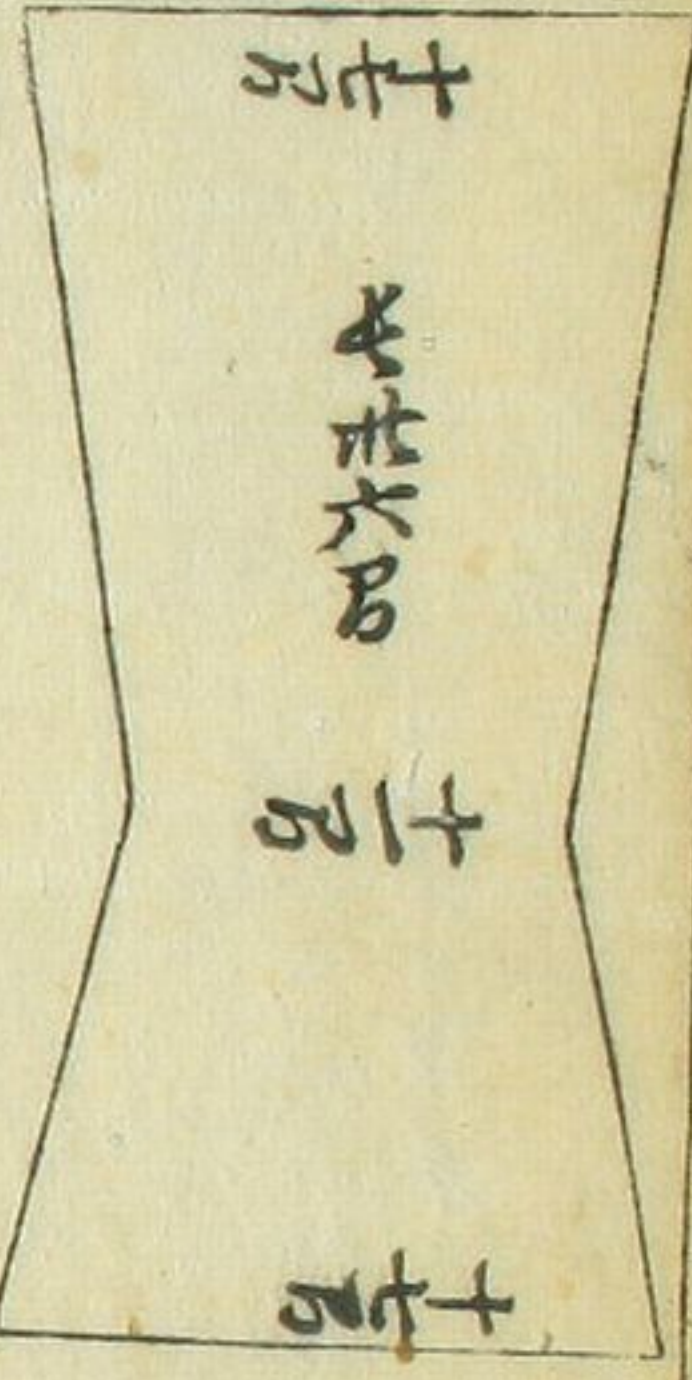
捨地は
ほろり
厚う大
かゝる
あり

法	田	廣	長
直	十	三	十

三及四畝十六歩あり

六	六
七五十五畝	三進十坪
七百四十	三二畝
三八二畝	三二畝
三三六	三三二
千三二	一

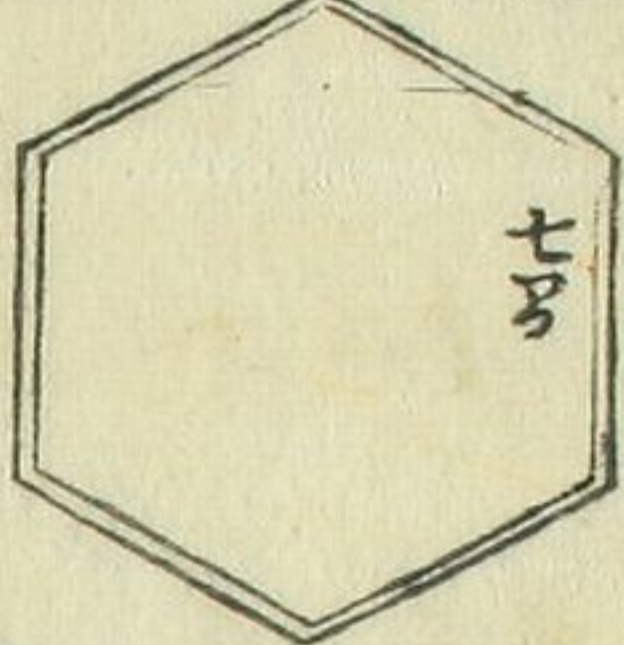
法おろくさ成七尺ひろさ九八尺を
りめてかられり成六坪とあるありこれと田法
三百坪をりりこれ三及四畝十六歩あり



法小於七方小上方をかくの時廿六方ニ
 此是を二つしよれは十方より此是
 小長六方をかくれは五百四畔
 これを因法三をりてこれ

一及六敵廿四歩

六角のかりて七方ある時廿四畔教あふ程と云時



法小上方をかくれは九と此是小六角法二又
 九八をかくれは廿七畔三ふ二毛多とゆふあり
 又法小上方をかくれは九と此是三三法をかく
 れは三三と此是をかくれは廿七畔三ふ二毛と云

百廿七畔三ふ二毛と云

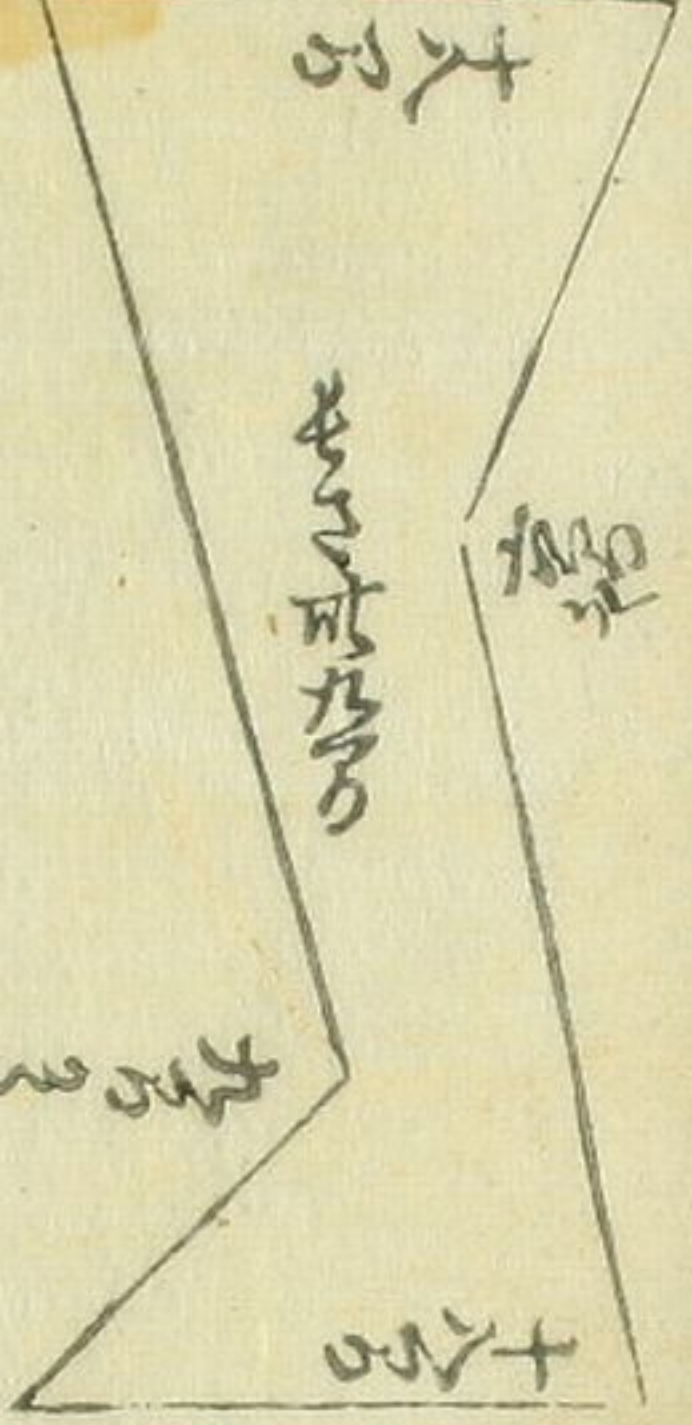
法小五十四方三十四方
 をかく時九十九方小
 此二つ小は廿九方
 半は此は十一方と

一及九敵廿四歩

七十四方

十一

かくれは五十九十畔と此これを因法三をりて云



一及三敵十歩 法小九方二
 十八方をかくて七二畔あはるる
 又六面のかりを九方のかりあは
 てすると此これを二つ小は七方
 半と此は九方をかくれは廿九

於中畔等と此是をりて何と云はて百九畔等を見因法三をりて割也

五敵廿七歩

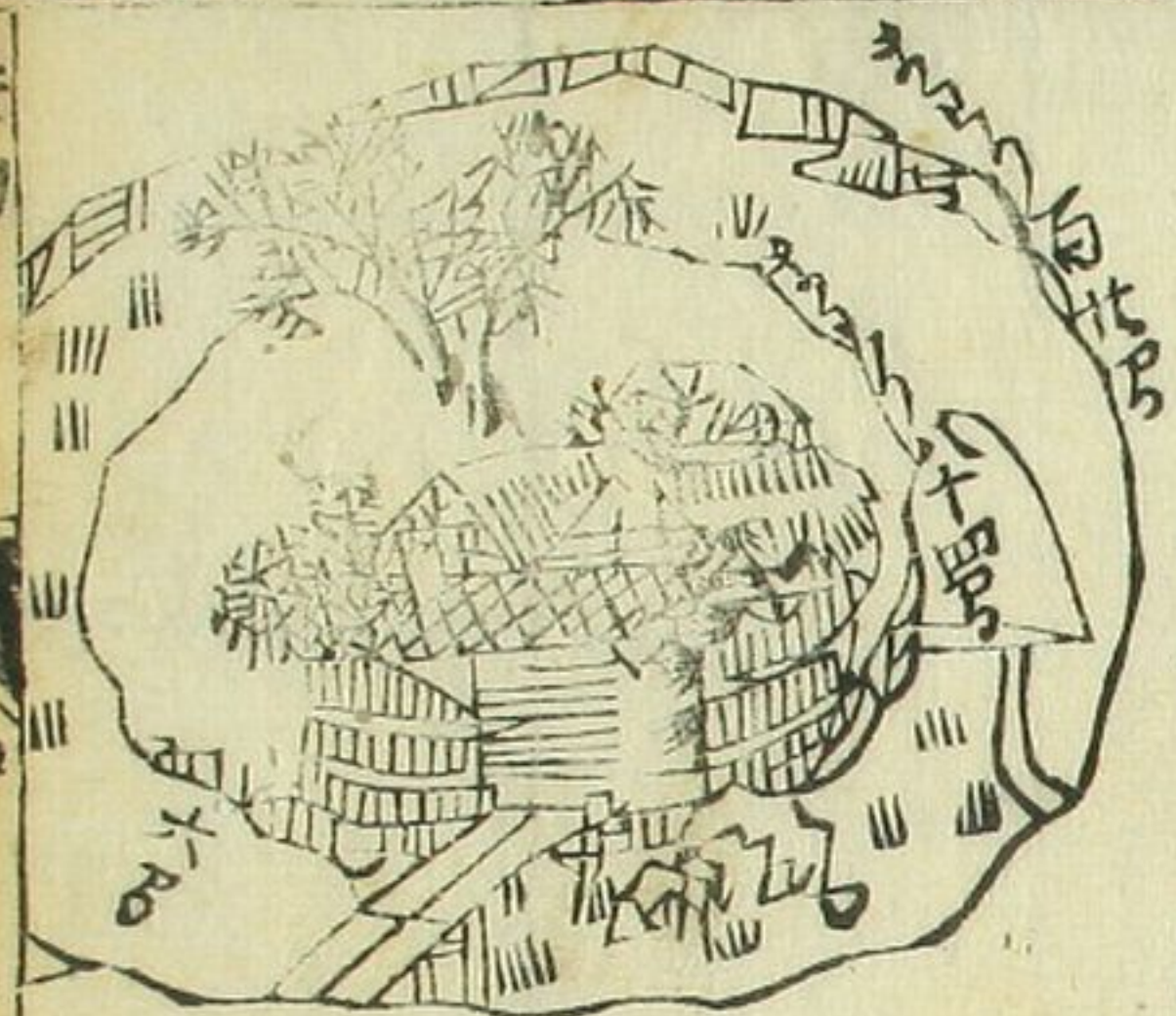
法小五方をかくれは廿七畔七分あり
 外首は五畔と此これを九をかくれは百七畔七分あり
 と此是を因法三をりてこれありあり



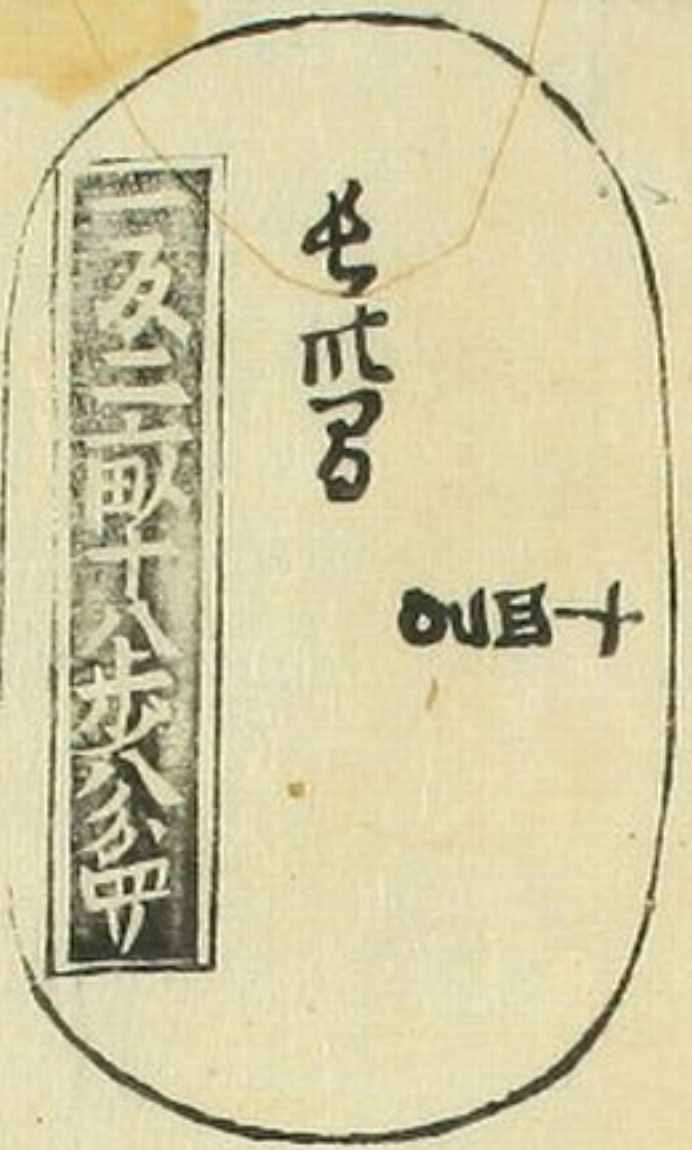
四敵十歩

七十五方

法小四方と二つ小割三二と此
 れを七十五方かくれは百七畔
 此これを因法三をりてこれ
 四敵十歩と云ふあり

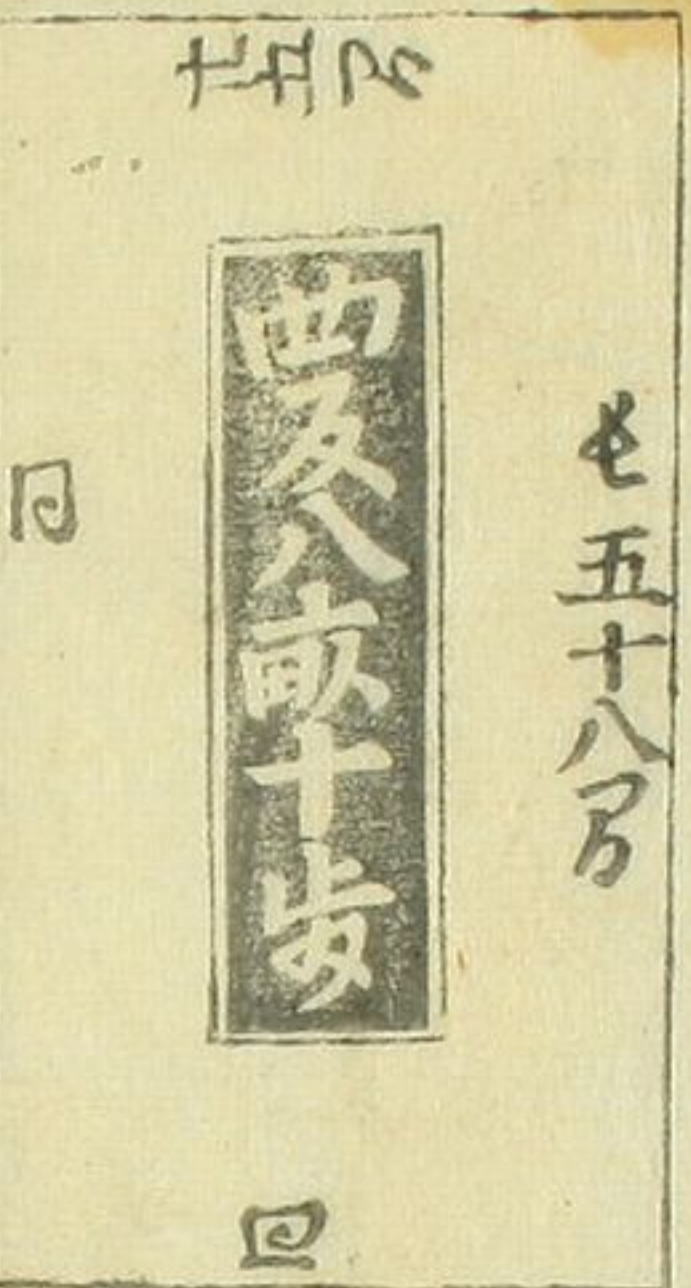


小三百七十八坪八分字とされと因法三ありとされとあり

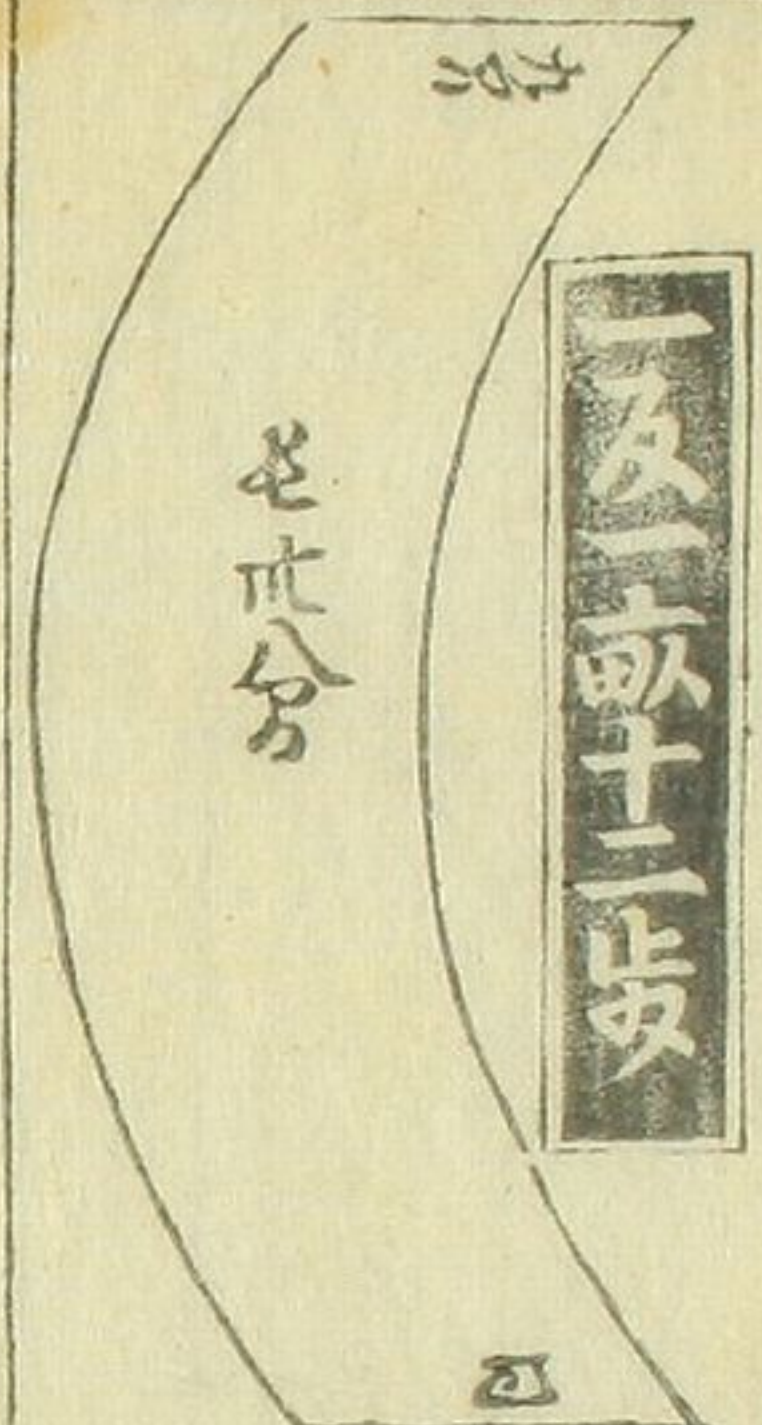


法ふそとらちをよ小百四万と二万
 小百九千歩方とそ小六万歩方
 六百十二坪とそ因法三ありと下

二及於外歩



法ふそとらちをよ小百五坪とありとそ因法三ありとあり
 四及八畝十歩と云



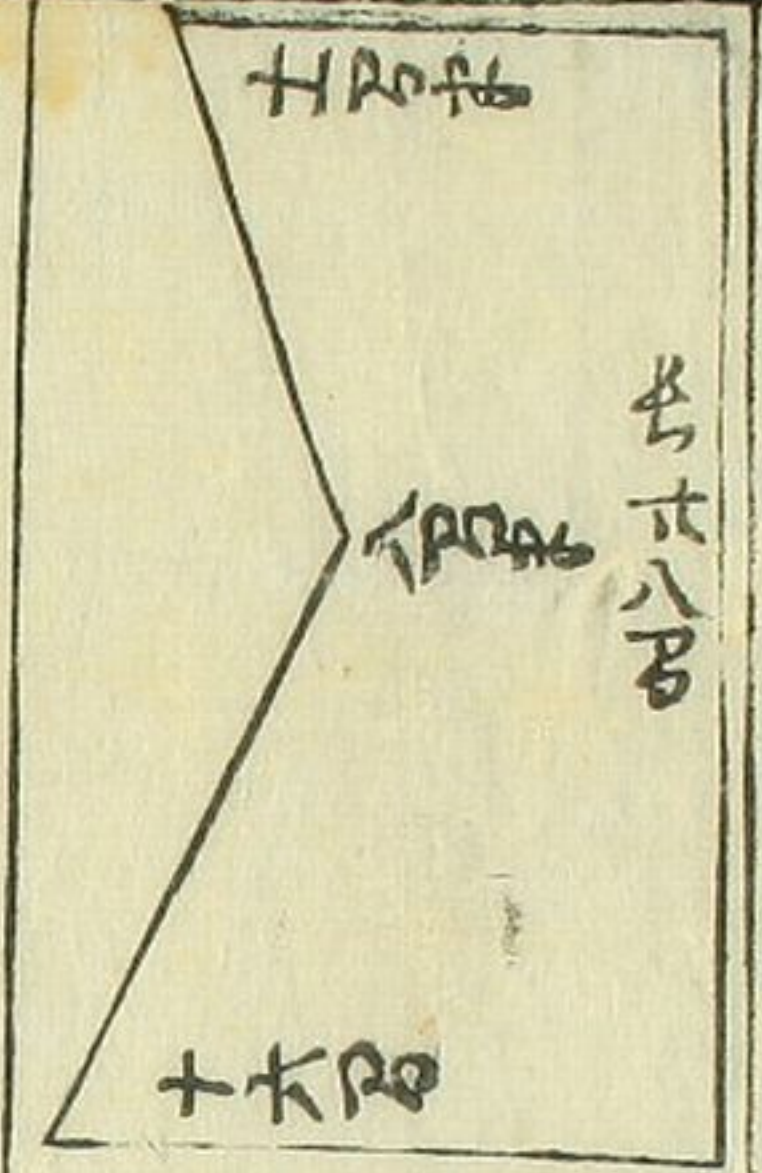
法ふそとらちをよ小百八万と九万をゆれ
 三百四坪とありとそ因法三ありとあり



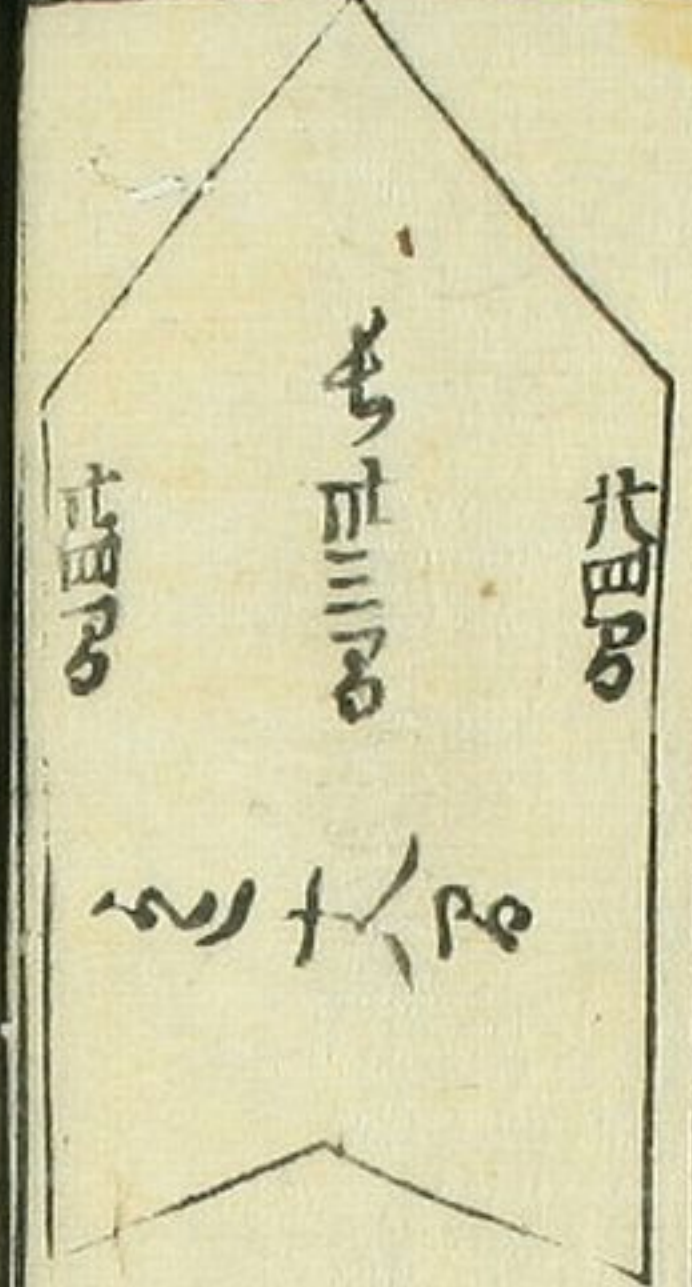
法ふそとらちをよ小百八万と九万とありとそ因法三ありとあり
 六畝九歩とありとあり



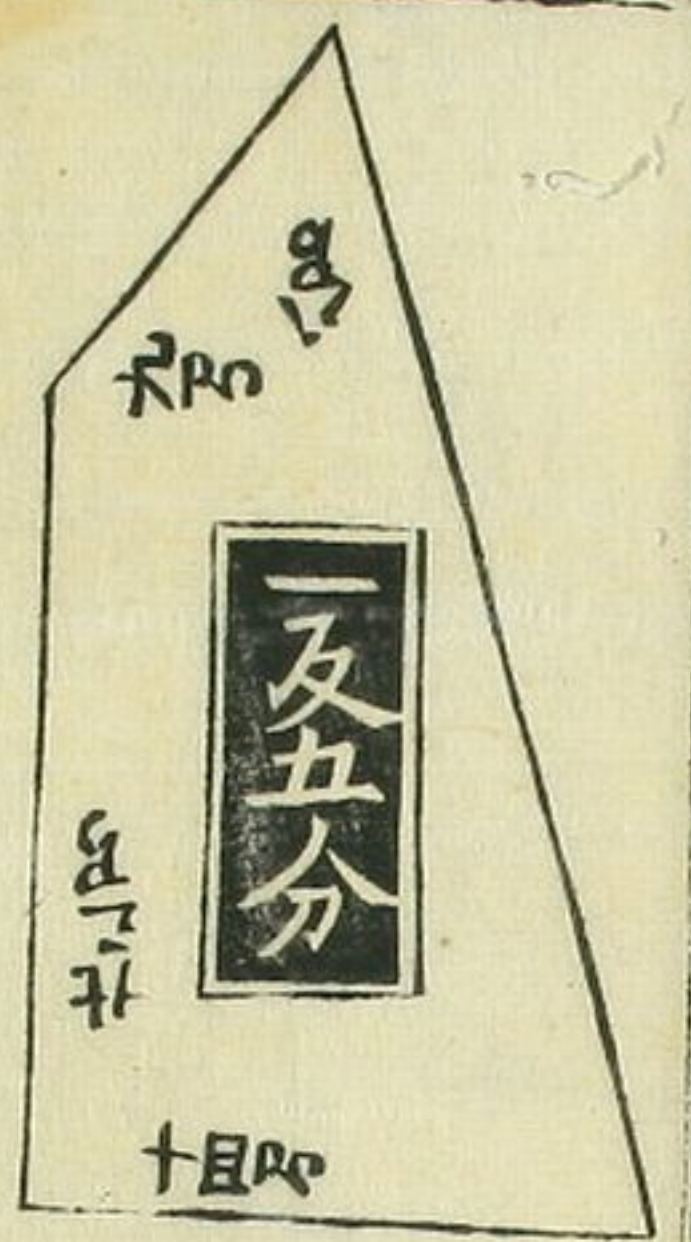
法小廿七步小於二万とせられ三百坪
 算小ぬれと田のは三万小割て
 見れ
 一及廿四歩とせられ



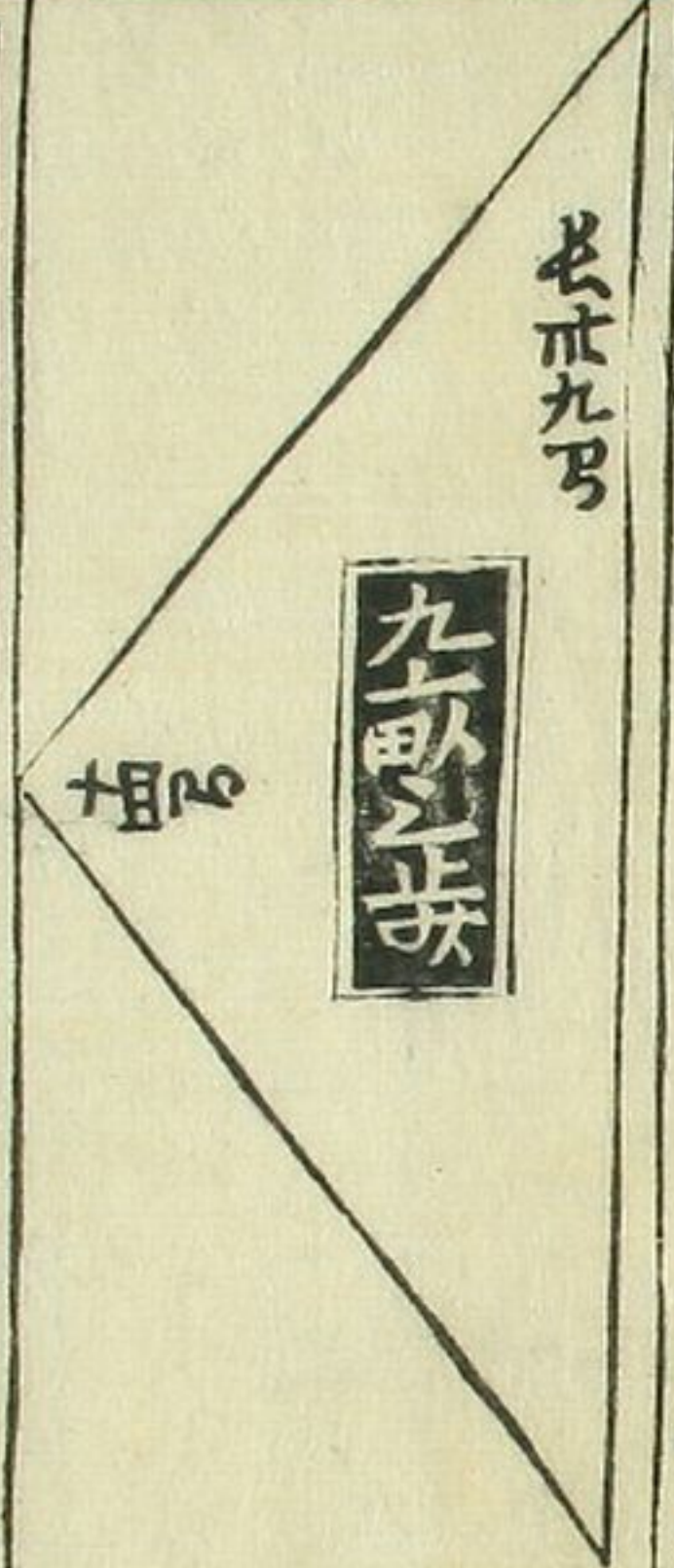
法小十六万半の八万半を加へ又十一万半
 を加へ合ふ六万小ぬれを三万小割て
 十二万小ぬれ小ぬれ八万をせられ三百
 坪小ぬれを田のは二万小割て見れ
 一及三及七四歩とせられ



法小廿三歩小廿四歩と加へて四十七歩
 小ぬれを二万小割て八万半小ぬれ
 小ぬれを二万小割て八万半小ぬれ
 小ぬれを二万小割て八万半小ぬれ
 小ぬれを二万小割て八万半小ぬれ



法小廿四歩九歩加へて卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ



法小廿四歩九歩加へて卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ
 小ぬれを二万小割て卅三歩小ぬれ

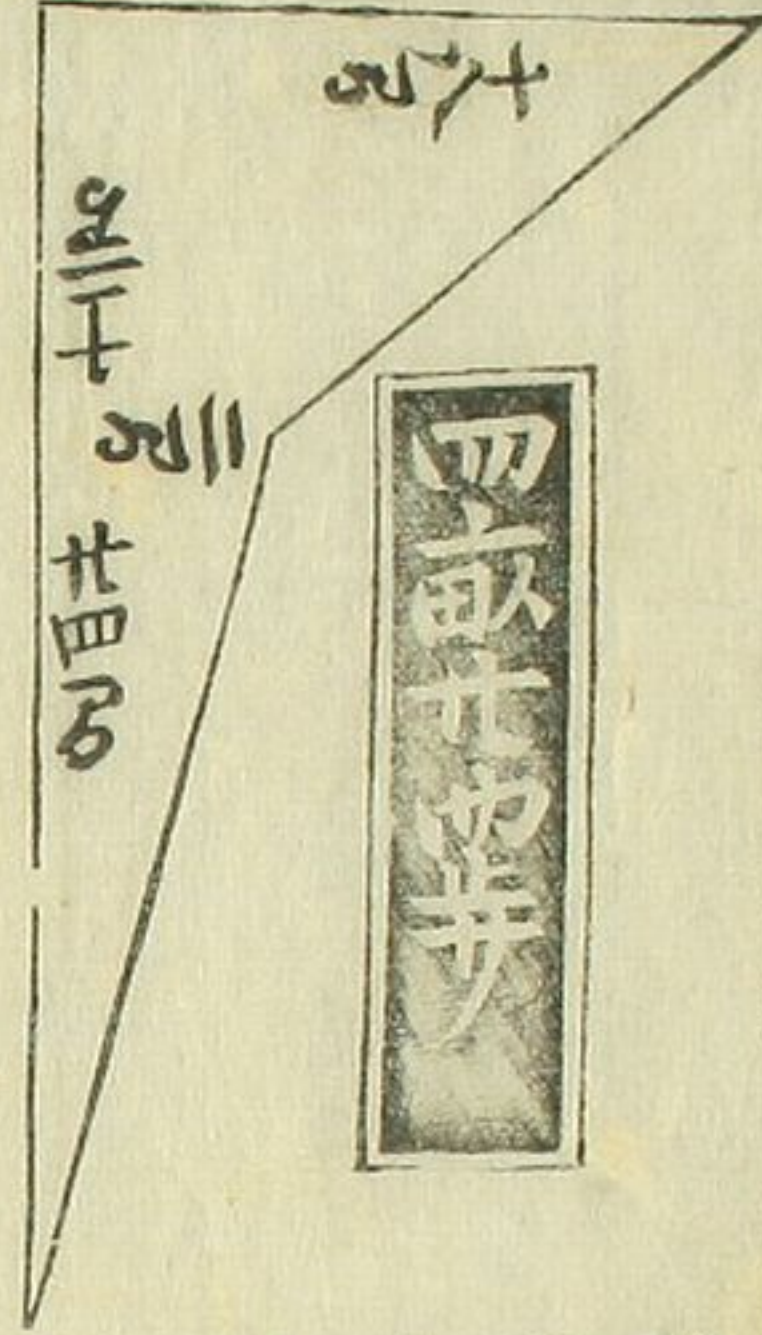
長七十六歩
 一及七四歩
 法小廿七歩

三万小割て一萬八歩四分云りとせられ
 三万小割て一萬八歩四分云りとせられ
 三万小割て一萬八歩四分云りとせられ



法小十六万と二つふまは八万と
 是と長廿九万ふまは二万十三持
 これを田法三万とすれば

三及十二段と三段



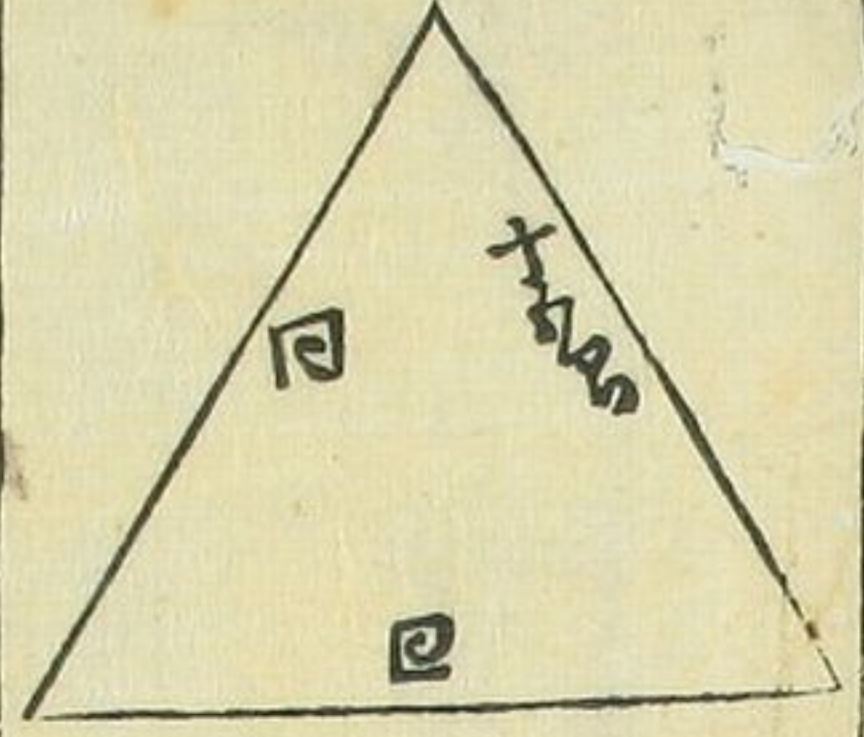
四畝廿四步

法一二月と二つに日れ二万と
 長廿四万とすれば廿四畝又二万
 八万と廿四万とすれば二万に日
 万ふまは二万と長十二万ふま
 は廿四万と廿四畝と合而中
 田法三万とすれば



一及七畝

法一二月と二つに日れ二万と
 長廿四万とすれば廿四畝又二万
 八万と廿四万とすれば二万に日
 万ふまは二万と長十二万ふま
 は廿四万と廿四畝と合而中
 田法三万とすれば

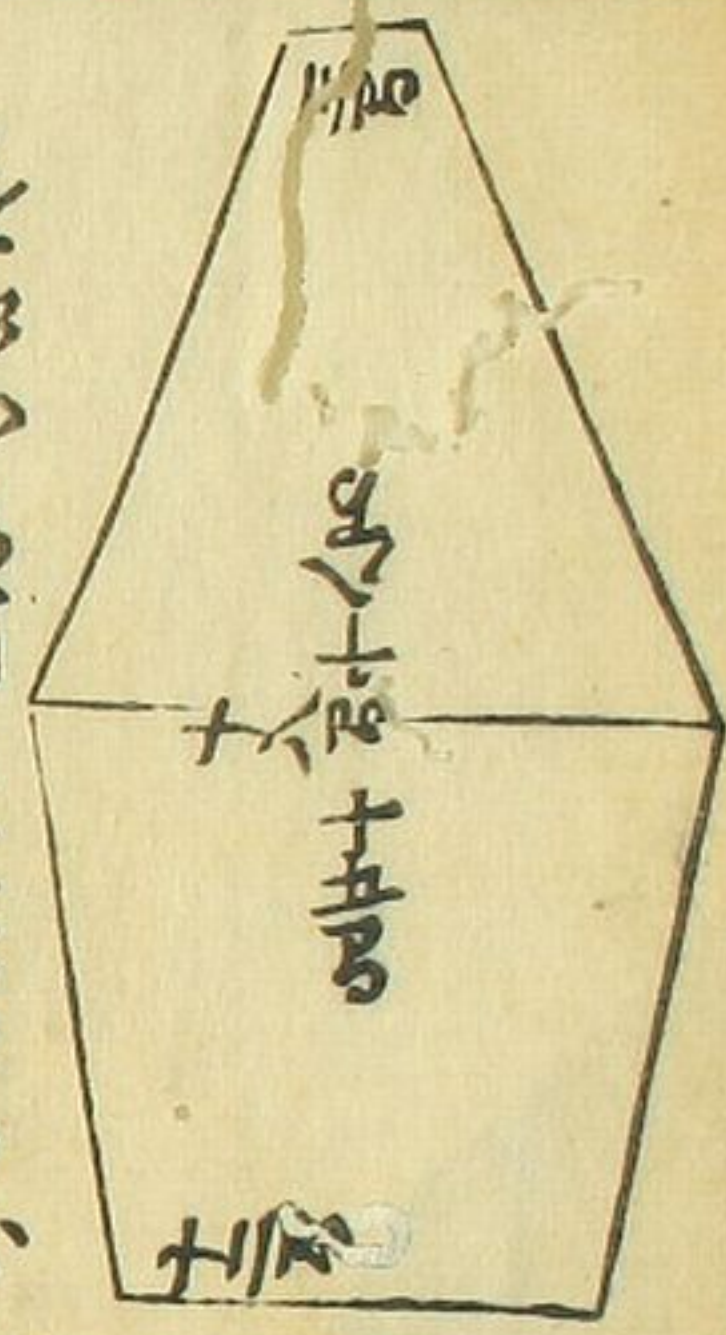


三畝七段金三厘五毛也

法小十六万と二つふまは八万と
 是と長廿九万ふまは二万十三持
 これを田法三万とすれば

二及一畝九分

法小十六万と二つふまは八万と
 是と長廿九万ふまは二万十三持
 これを田法三万とすれば



を加ふ時より二万七千七百と二万七千七百半に足すと
 七十八万七千七百九十九坪ふたたく二口合口百十坪と二
 れを田の法三万七千七百

二及二畝廿八歩九分也

十
 二
 七
 千
 七
 百

法小十二万を二のよ割ハ

六万七千七百を七千七百ふたたく

法百四坪ふたたくを田法三万七千七百割也

寄文

寄りの物数の事

▲二及七畝五対半代を及ふ付是石五坪ありてたそ
 高ハありてそとりの時

高四石五坪とりの

▲先二及七畝とた小五石五坪とかくれ定石五坪と
 ▲九及三畝は歩ある時と及付石五坪代ありて高と四

高四石五坪とりの

▲九及三畝は二歩とた小五坪と二歩と三とありて
 九及三畝とた小五坪とかくれ高あり也

▲高三万七千七百ありてた小五坪とた小五坪とりの時
 高三万七千七百ありてた小五坪とた小五坪とりの時

▲先六及三万七千七百ありてた小五坪とた小五坪とりの時
 高又万七千七百ありてた小五坪とた小五坪とりの時

たろく抽ぬいふありあきなり云時 六八八分あり也

す川抽ぬをたふ垂るなりなりなり云云八分あり也

▲同じ又方七子三百石五斗 四三万八千九百六拾石

時ふあんそふあさるなりなりなり 二万八千二分なり

先きの内と抽ぬなりなりなり 一万八千三百三拾石

五これなりなりなりなり 三万八千二分なりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

先き方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

▲抽ぬ二万二子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ふんそく抽ぬの口なりなりなりなり 二万八千二分なりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

先き方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

先き方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

先き方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

▲抽ぬ方八子八百八拾石なり云云 八分なりなりなり

ありなりなりなりなりなり 二万八千二分なりなり

之を石八粒とたふす是とゆふ少くもれ又四粒は
少くたふすは方字七百粒をいれとす

▲又中算口算算算凡ふ少くもれ七粒をいれとす

夫算少くもれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

先凡ふ石八粒とたふすは少くもれ一八粒とたふ
てたふすは方字七百粒をいれとす

▲夫算子三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

とあはれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

▲口算口算算算凡ふ少くもれ七粒をいれとす

あはれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

▲口算算算凡ふ少くもれ八粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

▲口算算算凡ふ少くもれ八粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

▲又口算算算凡ふ少くもれ八粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

たふす三百七粒をいれとすといふ時 夫算子三百七粒をいれとす

▲年夫算八石六斗七粒をいれとす

いふ事申すに御座候程と云
 おさめ八石五斗也
 七石八斗七升七勺と云ふれを一石五斗也
 おさめ八石五斗と云ふ

▲瓶六百七拾五升五勺の如くお納申し時一石二斗五升五勺
 つの算用は口算にて何程納ると云
 納此六百七拾七升五勺也

七石八斗七升七勺と云ふれを代仕と云ふはこれお
 又口算申す人のつひお算を加へておさめありこれお
 ておさめは六百七拾五升五勺と云ふれは代仕七升五勺
 ハと云ふは——又おさめおさめおさめおさめ

第六

おさめの法付わく——おさめの法付事

おさめの法付わくは、おさめの法付事、おさめの法付事、おさめの法付事

八合 いふ事 おさめ 二斗七升七勺	七合 いふ事 おさめ 一斗九升七勺	六合 いふ事 おさめ 一斗七升七勺	五合 いふ事 おさめ 一斗五升七勺	四合 いふ事 おさめ 一斗三升七勺	三合 いふ事 おさめ 一斗一升七勺	二合 いふ事 おさめ 一斗九分七毛	一合 いふ事 おさめ 一斗七分七毛
九合 いふ事 おさめ 二斗七升七勺	八合 いふ事 おさめ 二斗五升七勺	七合 いふ事 おさめ 二斗三升七勺	六合 いふ事 おさめ 二斗一升七勺	五合 いふ事 おさめ 二斗九分七毛	四合 いふ事 おさめ 二斗七分七毛	三合 いふ事 おさめ 二斗五分七毛	二合 いふ事 おさめ 二斗三分七毛
九合 いふ事 おさめ 二斗七升七勺	八合 いふ事 おさめ 二斗五升七勺	七合 いふ事 おさめ 二斗三升七勺	六合 いふ事 おさめ 二斗一升七勺	五合 いふ事 おさめ 二斗九分七毛	四合 いふ事 おさめ 二斗七分七毛	三合 いふ事 おさめ 二斗五分七毛	二合 いふ事 おさめ 二斗三分七毛

并七 一斗の南の地子種同アリ事

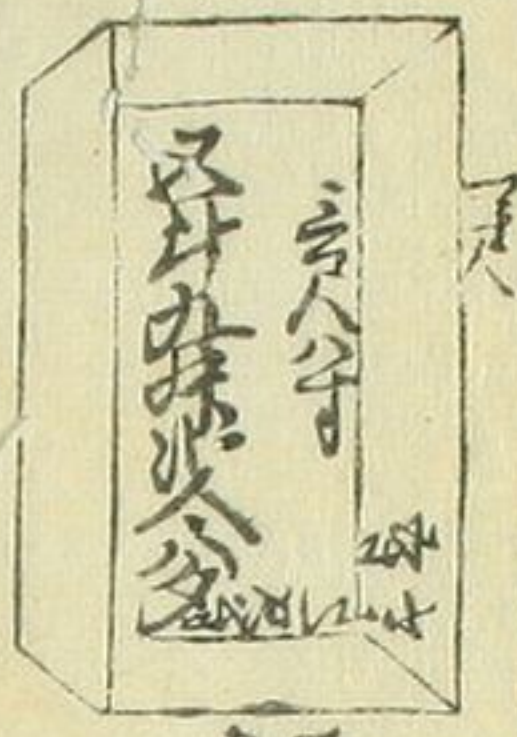
今斗の法 一斗四方 法よひろこ寸

亦外とたち小斗わかれ小斗を種とぬこれ又うさ守七分をわかれ二分四方のこれ種六分四方の八百九十七坪入也

古味の法 一斗四方 法よひろこ寸

凡ち小斗わかれ小斗又百小ぬこれ又うさ守八分をわかれ六分小斗又百坪とぬあり

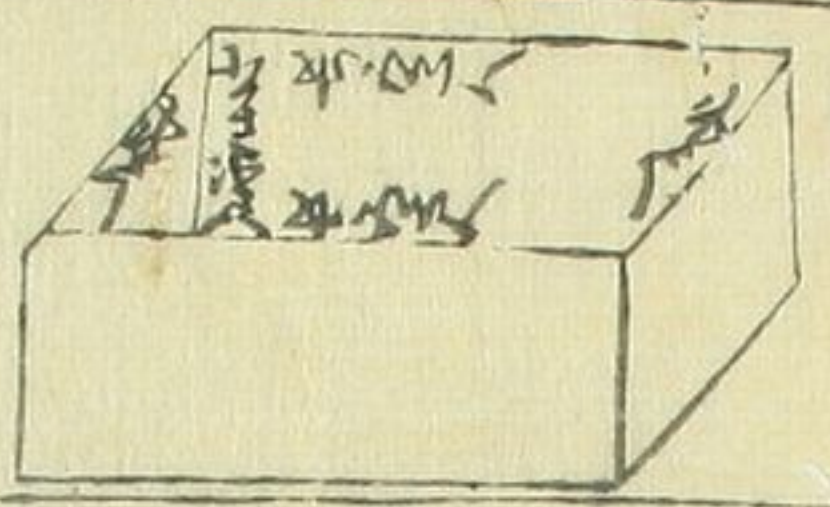
又松云をわかれ事ハ 五尺四方の内小を種未入ぬ



先口尺小三尺寸わけて七尺寸小ぬ二つは三尺寸とぬ又左も實小三尺寸わけて三尺寸とぬ是は二つは三尺寸とぬ又右も實小三尺寸わけて三尺寸とぬ是は二つは三尺寸とぬ

今種より 二石八斗ぬ合を女入こ

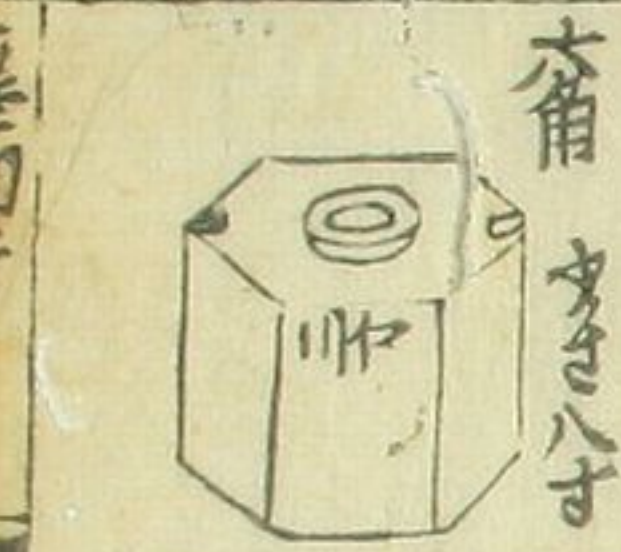
少味より 三石小斗入あり



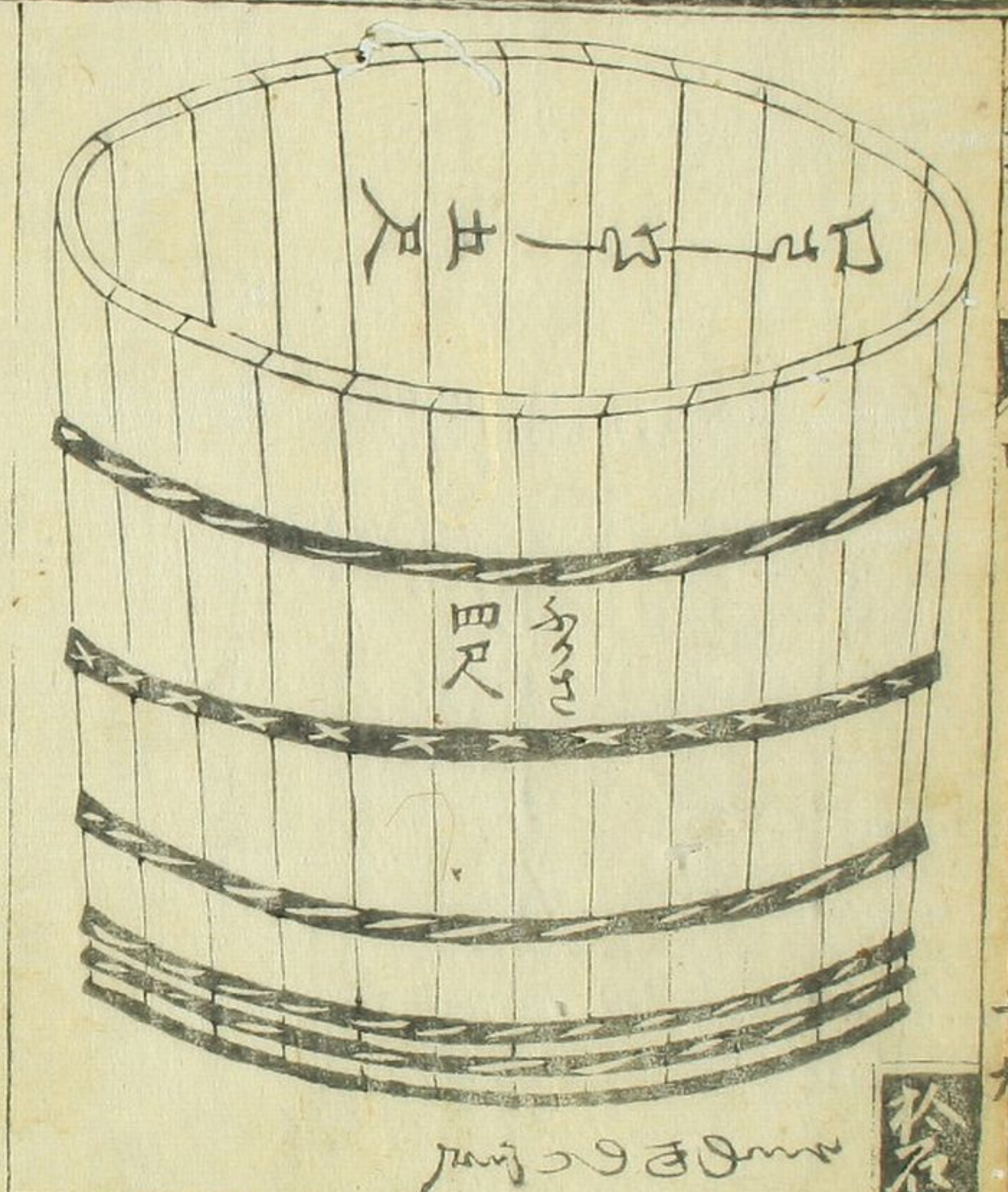
先口又尺小三尺寸とわかれ松坪とぬこれ小うさ小尺をわかれ松坪とぬこれ今種の法六尺八二七とわけてこれ三石半ぬ合を女入とぬ又切り種より種ぬ時八石と九坪と六二ぬをわけてこれ三石小斗入とぬあり也

又右も此坪よすまをわけても三石小斗入とぬあり也

亦味より 少味九合九斗入あり



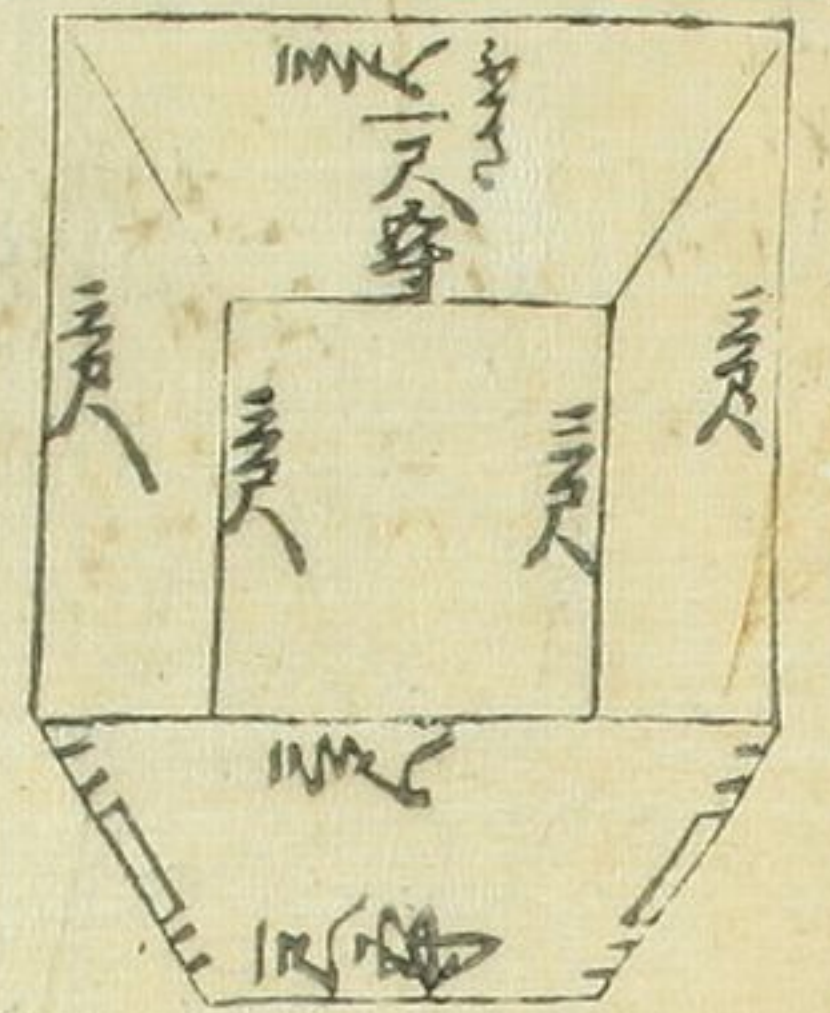
亦角のおりて三寸とたち小斗わかれ九とぬ是小亦角の法二尺九八をわかれ二二三八とぬこれ小亦角の法二尺九八とぬ是は二つは三尺寸とぬ



松石の寸法

これの圍法七九をかけた六三九九の法に合はるなり
 律法十をかけた九十九の法に合はるなり

法は九尺八寸八分
 を加へて九尺八寸
 九分を二寸五分
 加へて一尺二寸四分
 八分を二寸四分
 八分を二寸四分
 八分を二寸四分



これの石六斗の法に入ると合はるなり

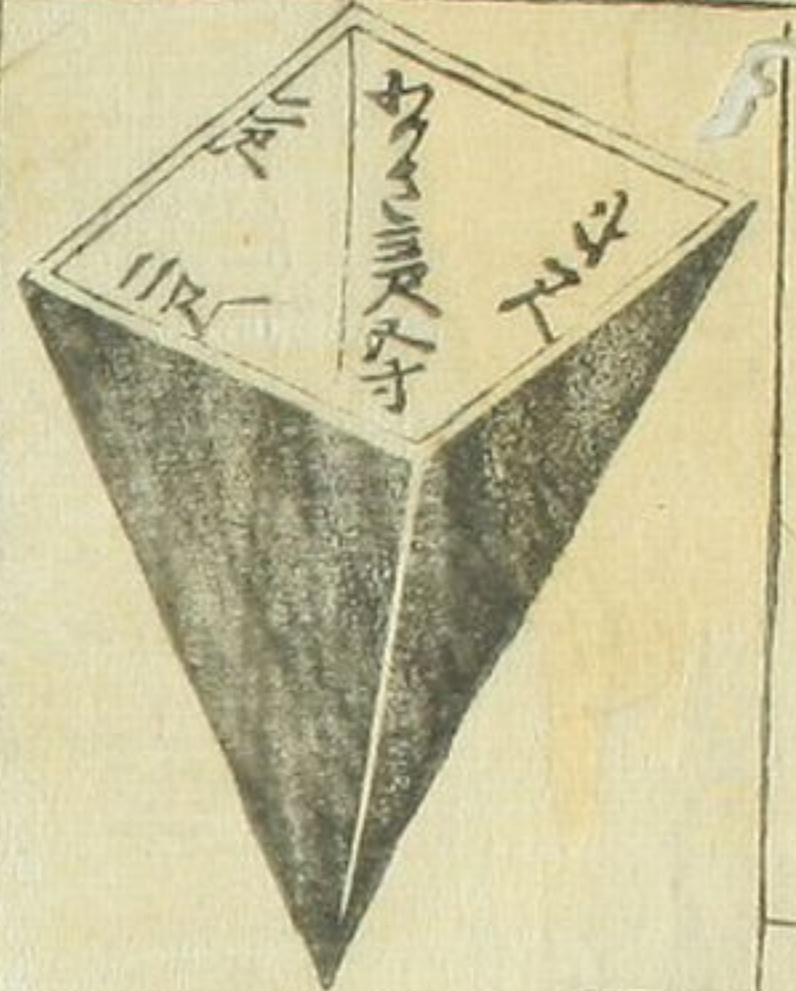
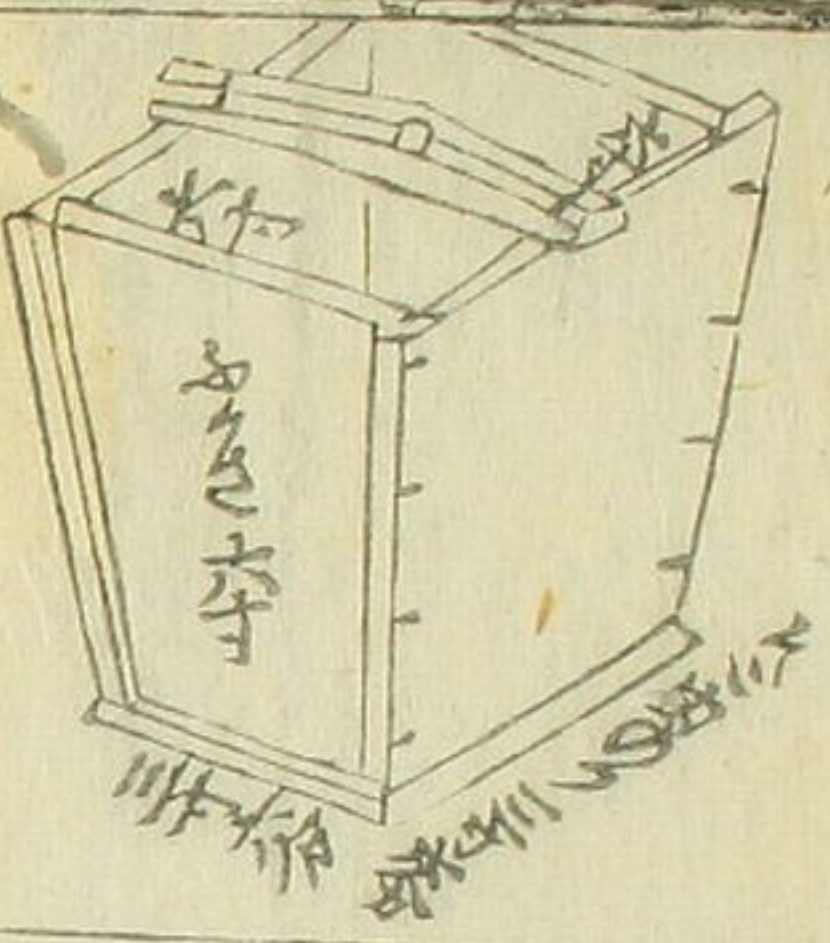
今律の法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり
 これの法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり

古律の法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり

法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり
 これの法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり



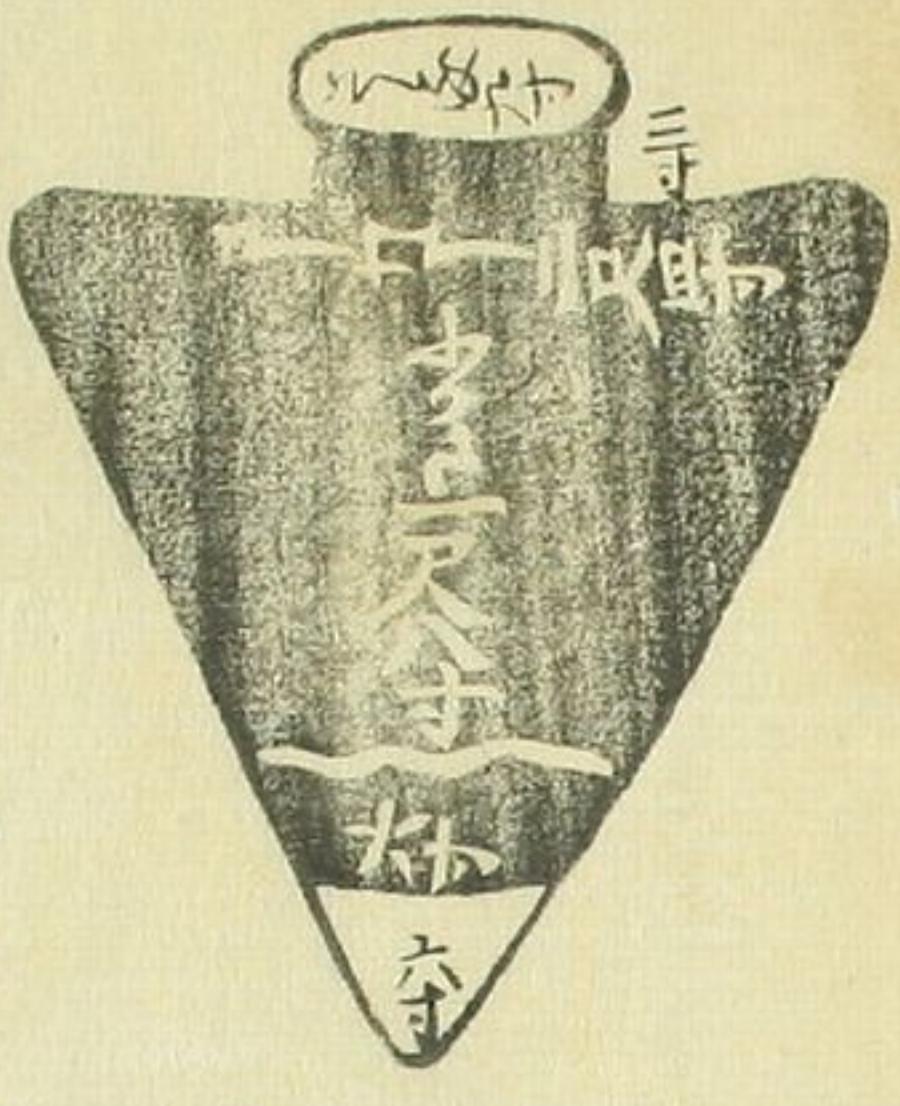
古律の法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり
 これの法は九尺八寸二分を今律の法に合はるなり



今様光の平太三寸
 古本光の平太三寸
 先口守小三寸五分と如九寸五分と如
 ねとつ小三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 げの時三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 以てよれぬ様上太三寸五分と如れし

古本光の平太三寸

口守小三寸五分と如九寸五分と如
 三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 法書をねとつ小三寸五分と如
 又と様光の平太三寸五分と如
 一九寸五分と如ねとつ小三寸五分と如



古本光の平太三寸

法書をねとつ小三寸五分と如
 又と様光の平太三寸五分と如
 先口守小三寸五分と如九寸五分と如
 ねとつ小三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 げの時三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 以てよれぬ様上太三寸五分と如れし

先口守小三寸五分と如九寸五分と如
 ねとつ小三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 げの時三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 三三寸五分と如ねとつ小三寸五分と如
 以てよれぬ様上太三寸五分と如れし
 又と様光の平太三寸五分と如
 一九寸五分と如ねとつ小三寸五分と如

古本光の平太三寸
 古本光の平太三寸
 古本光の平太三寸

三寸角の半方の半方なる角の事

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 写角ありとせしむ時 写角の半方の半方なる角を
 三寸とたれ小角の九寸とたれと半方の半方なる角を三寸と
 たれと小角又た小角とたれ小角の九寸とたれと半方の半方なる角を
 三寸とたれと半方の半方なる角を三寸とたれとあり

六寸角の三寸半なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角の三寸半なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸半の半方なる角 三寸半の半方の半方なる角を
 三寸とたれと半方の半方なる角を三寸とたれとありとせしむ時
 三寸とたれと半方の半方なる角を三寸とたれとありとせしむ時
 三寸とたれと半方の半方なる角を三寸とたれとありとせしむ時
 三寸とたれと半方の半方なる角を三寸とたれとありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時 三寸角の半方の半方なる角を写角の半方の半方に分けて九寸
 半角ありとせしむ時

けり又並りまどむけてちるちるおどて又又とちとち
三二六ちてしりたちおむりりそちてちるちるしりり
百ちねしちちとちれし也

- ▲又又あこのの四むすあそこの時ハ。二より三分四りむ毛も是也
 - ▲又又あこのの四むすあそこの時ハ。一より八分一り三毛も是也
 - ▲又又あこのの四三むすあそこの時ハ。一より三分四り六毛も是也
 - ▲又又あこのの四二むすあそこの時ハ。八分四り九毛も是也
 - ▲又又あこのの四一むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也
- はふりあこのの四むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也
あそこのの四むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也
あそこのの四むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也
あそこのの四むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也
あそこのの四むすあそこの時ハ。五分一り一毛も是也

りともこれとたふおむめられしは而令ゆゆ七分七り七毛も是
と也これちとちるちるあこのの時の内と^{いひ}ハ^{いひ}ハ^{いひ}ハ^{いひ}ハ
ゆりあこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是
あこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是
あこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是

第十

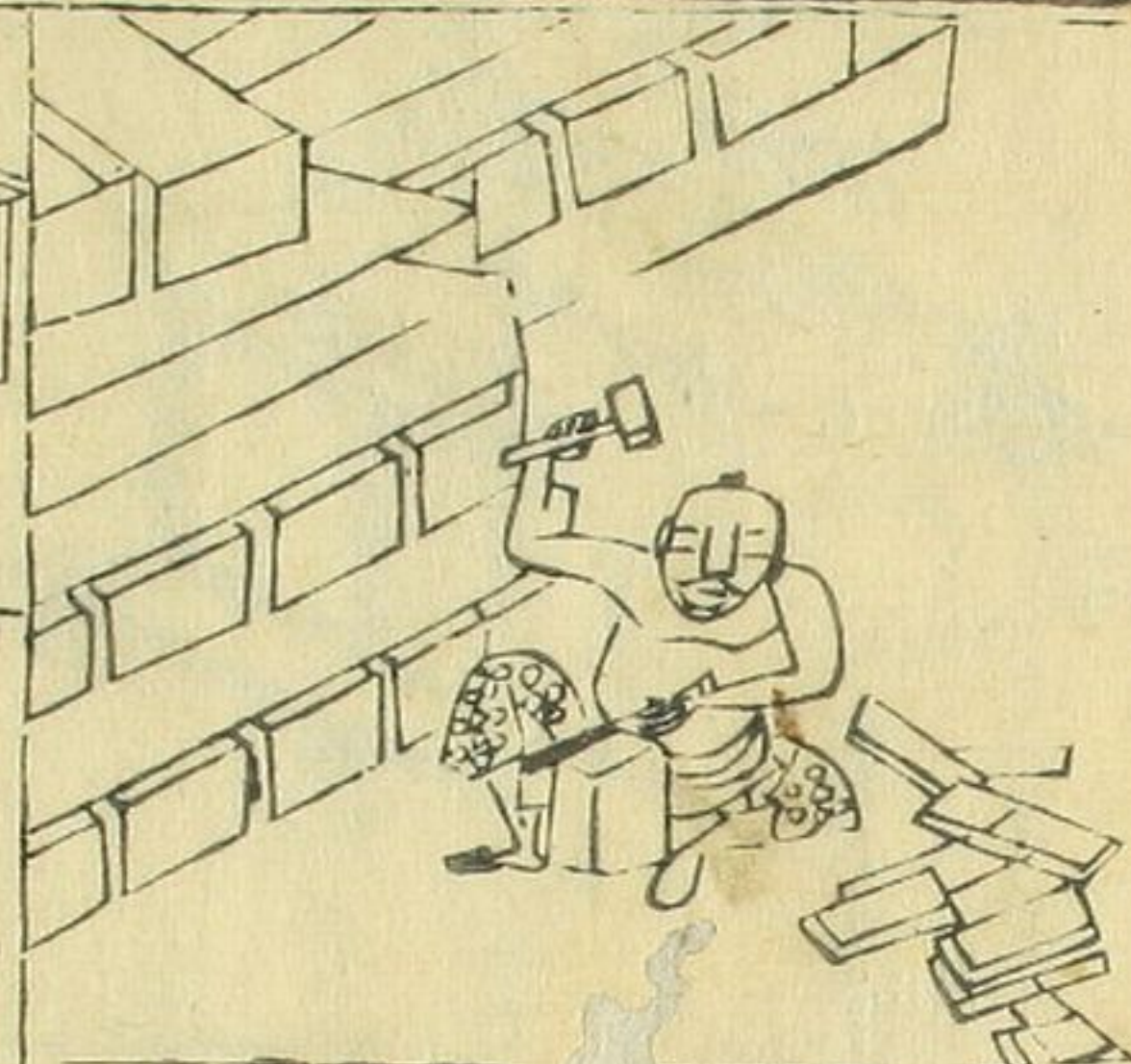
竹まのりーの事

竹をまとのあまのりりを尺八寸あふちあて代おぬ
かひし何お尺のちちあおぬそ
先を尺八寸あふちあふち二より三分四り九毛も是也
ゆりあこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是也
ゆりあこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是也
ゆりあこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是也
ゆりあこのの時と又たの時令ゆゆ七分七り七毛も是也

- ▲竹を束とつゝかまよりまんなりすありけぬをすつゝふ
そくの耐は何よりかきこすとのふすふ
 - ▲を八寸あゝの肉寸をさくの耐ふ。 〇二より三分りやま
 - ▲を八寸あゝの肉寸をさくの耐ふ。 〇二より三分りやま
 - ▲を八寸あゝの肉寸をさくの耐ふ。 〇二より三分りやま
 - ▲を八寸あゝの肉寸をさくの耐ふ。 〇二より三分りやま
 - ▲一尺九寸あゝの二尺八寸あゝより。 〇二より三分りやま
 - ▲二尺あゝの二尺八寸あゝより。 〇二より三分りやま
- 右いづれもい心持あゝより付し也

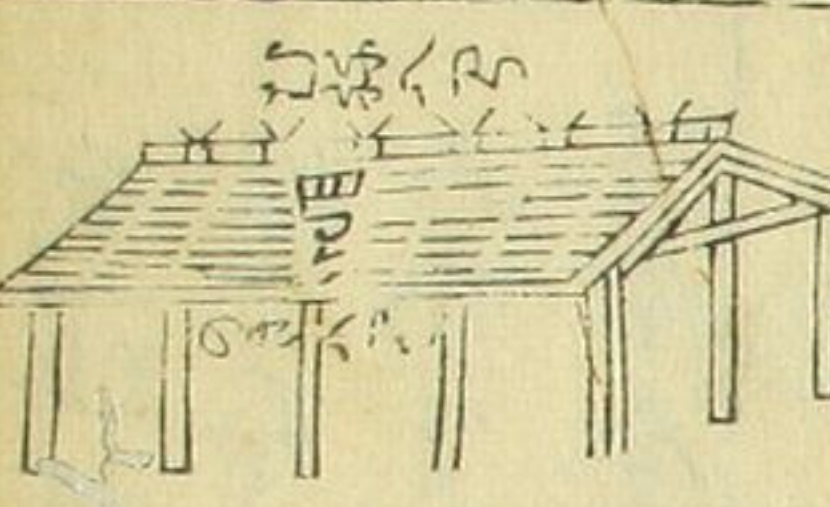
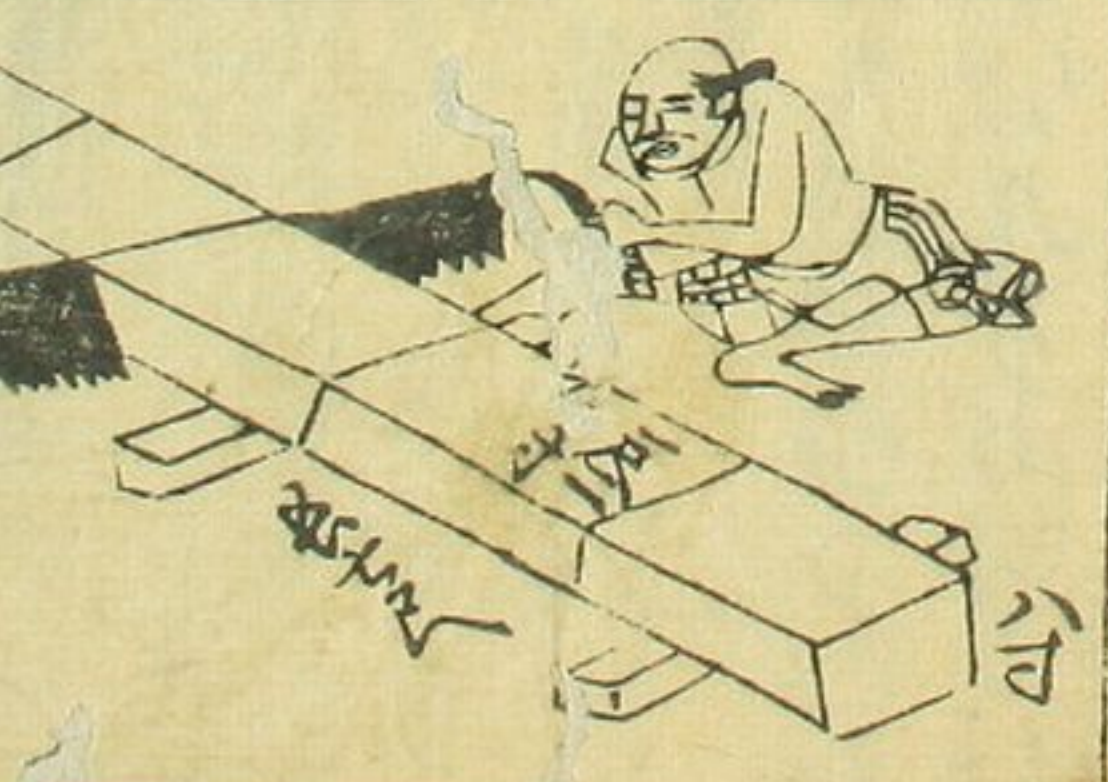
第十

屋縁のふま板はりり事



あつさ八寸いりさ二寸
長七尺をちちちをさ板
ふありて八二尺あふ
りこよぬそといふ耐ふ

下板を九尺板や



げ降板ぬらゝあて六寸厚きこけらさあてふま
板あふりて入をといふ耐ふのさあて二寸の申あて
二寸ああゝのさあて三寸あゝ合一寸あふ
あゝ也板のこゝ三寸あゝ板よゝ板あふ耐
入をといふ耐ふ

板を方合合八板か入

お小重がこれ九坪と云これよりたゞ二万石の坪とこれ
を三寸と云ふは石六枚と云ふより云ふ

▲金とく石板の板松の木の町板松の木の町と云ふ
町と云ふは町と云ふ町

板松の木の町と云ふは町と云ふ町と云ふ町

▲金とく石板の板松の木の町の町と云ふは町と云ふ町
町と云ふは町と云ふ町

先づ子三百石の板と云ふは町と云ふ町と云ふ町
町と云ふは町と云ふ町

と云ふは町と云ふ町と云ふ町と云ふ町
と云ふは町と云ふ町と云ふ町

第廿八

河ふまの事

▲はははの坪板のりと云ふは
りと云ふ

石三枚の坪と云ふ

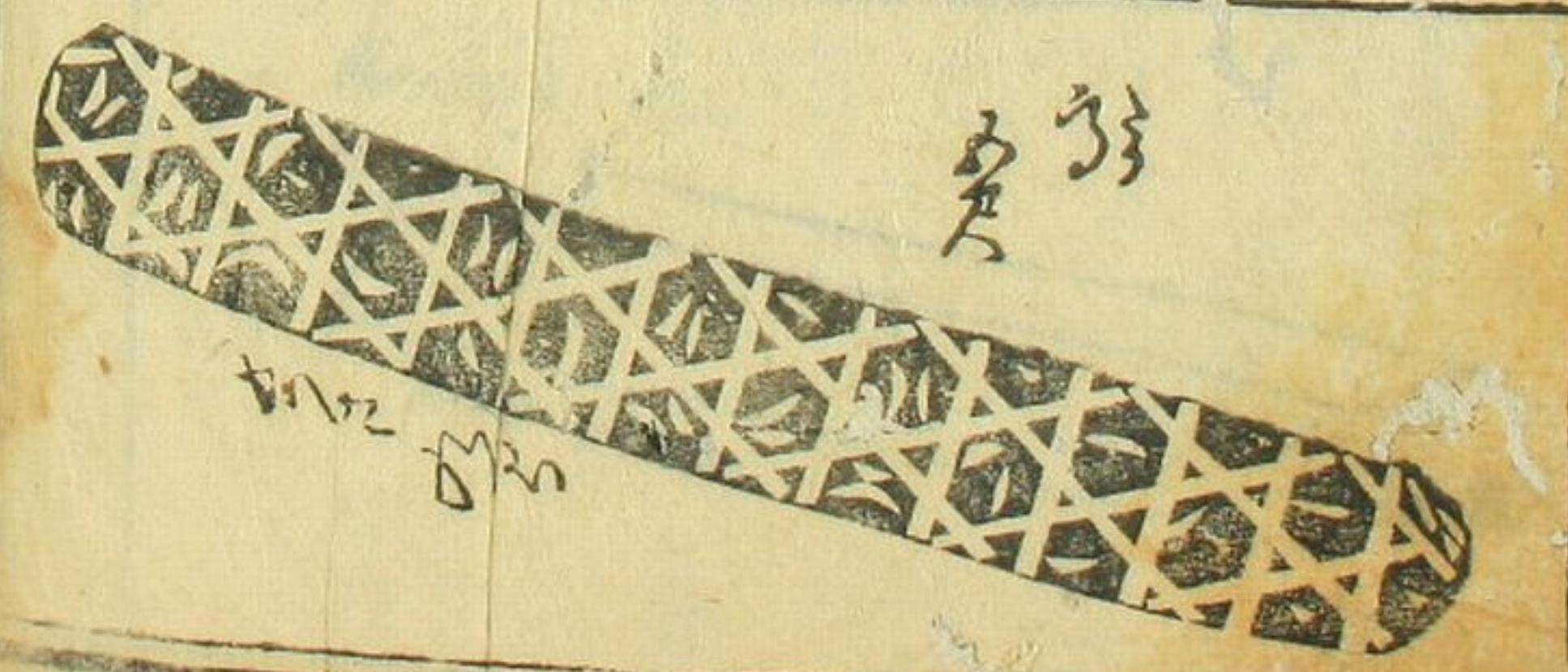
多の下れよと云ふは町と云ふ町
て八町と云ふは町と云ふ町
四町と云ふは町と云ふ町
八八坪と云ふは町と云ふ町
は八町と云ふは町と云ふ町



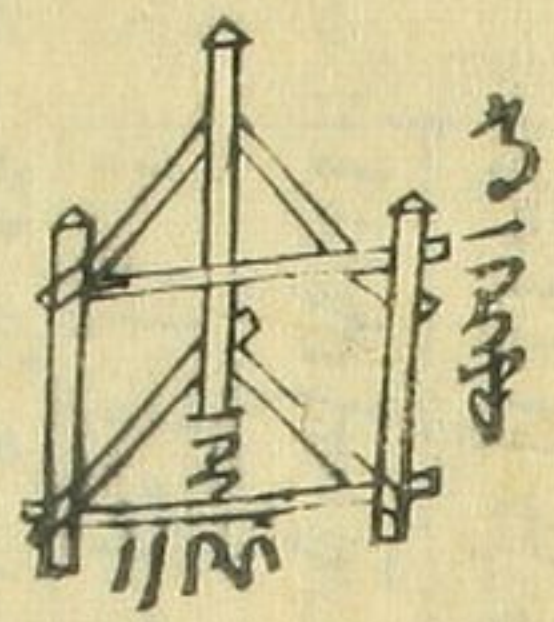
▲いよわかごの坪敷何なりと
そとつよとつよ

坪敷合セ夕入とつよ

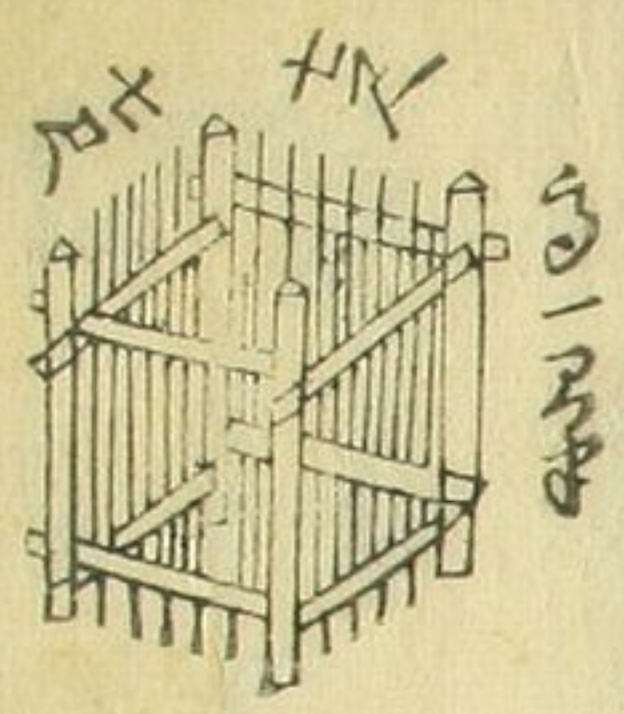
まの又尺をたちよまかく建ち二
又と女これよまの法七九かけ
と一九七又と女これよま九男をか
くれハ一七七七又と女これをひく
法一の法二二又をひくま
ハ坪敷合セ夕とつよ也



つよ



つよ



つよ

▲いよわかごの坪敷何なりとつよ

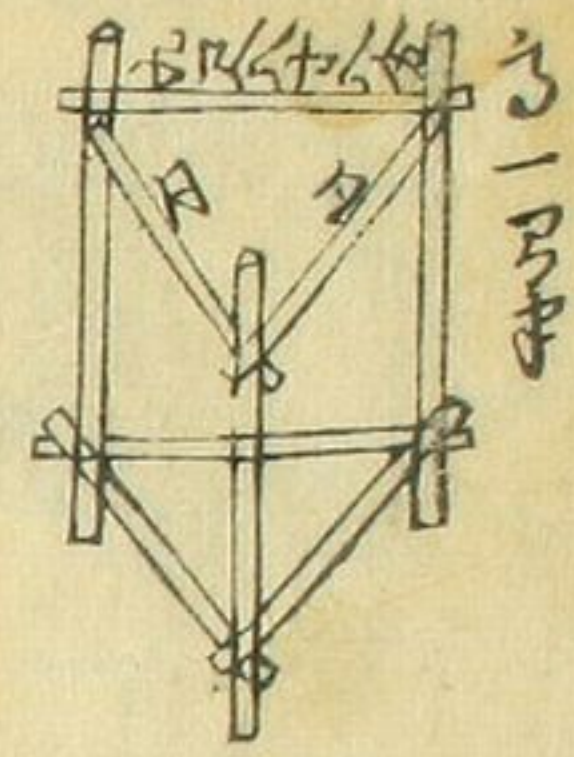
坪敷合セ夕入とつよ

法小中を尺をたちよまかく建ち二
又と女これよまの法七九かけ
と一九七又と女これよま九男をか
くれハ一七七七又と女これをひく
法一の法二二又をひくま
ハ坪敷合セ夕とつよ也

▲いよわかごの中へつよ

坪敷合セ夕入とつよ

法小中を尺をたちよまかく建ち二
又と女これよまの法七九かけ
と一九七又と女これよま九男をか
くれハ一七七七又と女これをひく
法一の法二二又をひくま
ハ坪敷合セ夕とつよ也



▲三脚のまじりにうねり合と云明
先降半入と云ふ也

先九尺八寸八分をたたふ垂るは九
七六二四四と云ふは九三三用の法で二三
をかれば二三六七下二又二と云ふ
ふる二尺半と云ふは二三下二又二八分をひく降
の法で二三をひくは降半と云ふあり

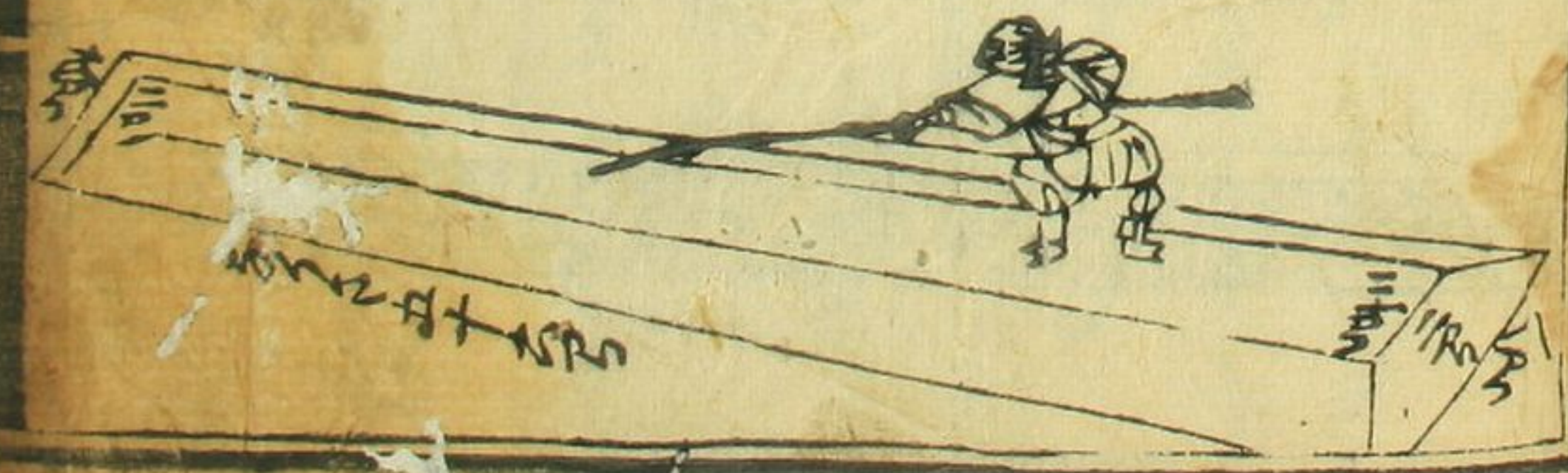
▲平降の四二二五と云ふは九三三用の法で二三をひくは降半と云ふあり

一二一五五	二四二二一
三七下四二八	四九一九七五
四二二五進の二十	

▲げつりの降板あふ程をいふ時

あふ三松の降板をいふ

まの上のくま三尺と云ふは合て六尺
あふこれ下の一と云ふは合て六尺と云
加て四尺合六尺をいふは合て六尺と云
これ合て六尺と云ふは合て六尺と云
と云ふは九降半と云ふは合て六尺と云
六尺をいふは合て六尺と云ふは合て六尺と云



かかれ二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
一坪五分ゆりともぬいぢあり

▲又ちう二三をさぬあて二二二とぬいぢを
二坪五分ゆりともぬいぢあり

▲ちりの長四百ちぬいぢを二二三とぬいぢを
何坪敷地ゆりともぬいぢあり

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
法は四百ちぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
四七七ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
二ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ちうぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
おぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
ぬいぢを二二三とぬいぢを

▲ぬいぢを二二三とぬいぢを二二三とぬいぢを
ぬいぢを二二三とぬいぢを

三十三

